

「丸山眞男記念比較思想研究センター」活動報告に 寄せて

東京女子大学比較文化研究所長 楠 明子

二〇〇二年一月、東京女子大学比較文化研究所に「丸山眞男記念比較思想研究センター」が附置された理由の一つは、学生・社会人に「センター」主催の授業を提供することであった。授業を通して丸山眞男先生をはじめとする偉大な思想家たちを、二一世紀を担う世代の人々に広く知ってもらうためである。二〇〇五年四月より「比較思想」の講座が「共通科目」として設けられ、歴史の流れに大きな影響を与えた思想家たちの考えを学ぶ機会が全学生と社会人に与えられる。目標の一つが達成され、大変うれしく思っている。世間から待望されている丸山文庫の図書や手稿の公開の日も、顧問の先生方の多大なご努力と図書館の協力で着々と近づきつつある。ひき続き、皆様のご支援をお願いしたい。